

簡単にできる! 分析ワークシートと記入例付き

エンジニアこそ行うべき セルフブランディング





この資料を通じてできること

昨今生成系AIの台頭から、人間にしかできないと思われていたことがAIにもできるようになってきており

今後も技術が発展し続けることを考えるのであれば、「自分にしかない強み」を言語化する力がより求められます。

このような「自分にしかない強み」を言語化し、アピールしながら自身の市場価値を高める手段として「セルフブランディング」があります。

そこで本資料では

- セルフブランディングの必要性
- 具体的なセルフブランディングの行い方

をお伝えし、他者から見て魅力的なセルフブランドを確立できるようにしていきます。

Contents

- 【1】エンジニアのセルフブランディングは必要？
- 【2】エンジニアのセルフブランディングに必要なアクション
 - a. 自己分析編
 - b. 情報整理編
 - c. 発信編
- 【3】IT案件紹介サイト「TECH STOCK (テックストック)」のご紹介
- 【4】エンジニアのセルフブランディング ワークシート



【 1 】 エンジニアのセルフブランディングは必要？

エンジニアのセルフブランディングは転職時にだけ必要と考えられがちですが、セルフブランディングを続けることでさまざまなメリットを得られるようになります。

基本的な メリット

■ SNS アカウントでの発信がしやすくなる

「どのような立場なのか」といった自身の価値が理解でき、SNS での発信がしやすくなる

■ 職務経歴書・スキルシートの作成しやすくなる

自己理解が深まるため、転職時の職務経歴書などが書きやすくなります

上記メリットに加えて…

自分の商品価値が高まる

- ✓ **自分のスキルアップ・給与アップが実現できる環境を整えられます**
強みやスキルの価値を積極的に発信することで、強みを持っている分野での商品価値が高まります。
- ✓ **自分が目指したい企業への転職など、理想のキャリアに近づけるチャンスを得やすくなります**
将来的に目指したいキャリアに近い分野からのヘッドハンティングなど、キャリア構築の手段としてもセルフブランディングが活用できます。

横のつながりが広がる

- ✓ **同じ悩み・疑問を持つエンジニアと繋がることで知識やスキルの蓄積に繋がります**
セルフブランディングにより自分の分野・方向性を発信するため、近い属性のエンジニアとの新しい人脈を作りやすくなります。
- ✓ **移り変わりが激しいITトレンド情報を手に入れやすくなります**
自分の強みやビジョンに沿った発信をすることでコミュニティができるため、移り変わりが激しい環境下でも情報を手に入れやすくなります。

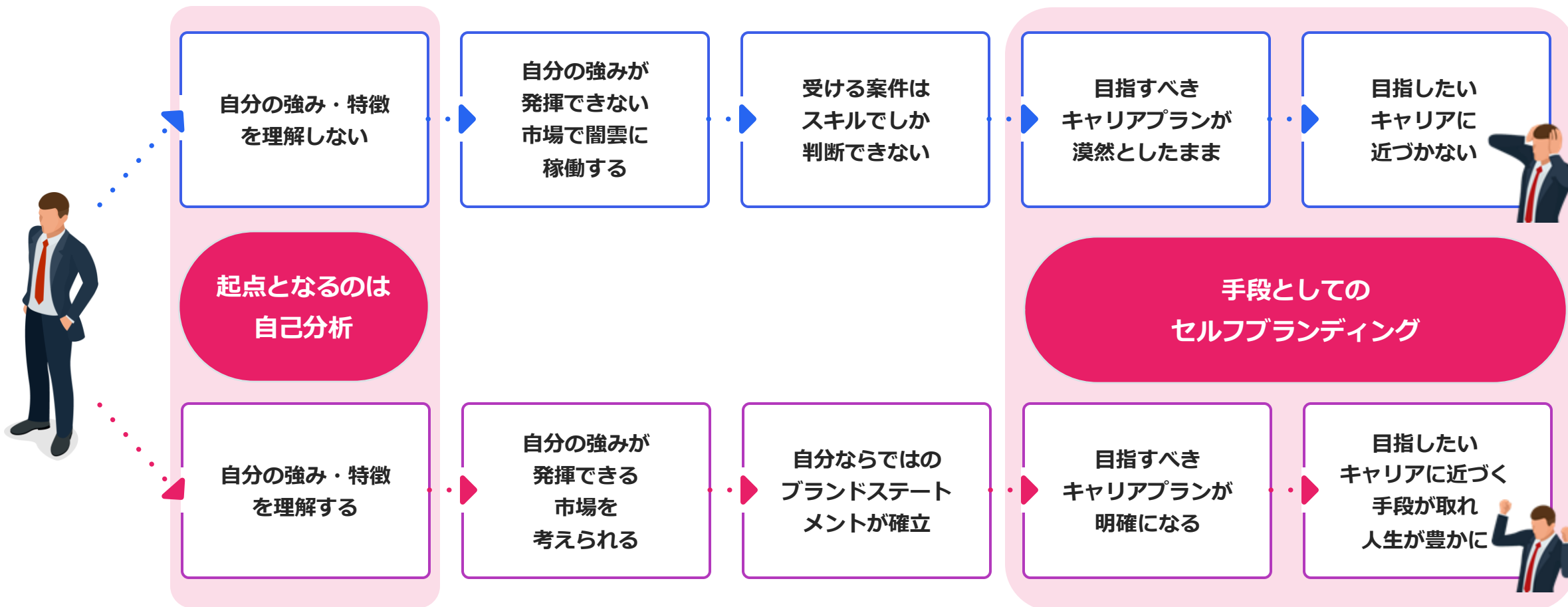
セルフブランディングを行う目的は様々ですが、ご自身のエンジニアとしてのキャリアアップのためにも、まず行ってみるのがオススメです。

【 2 】 必要なアクション

a. 自己分析編 - 重要性

セルフブランディングをするにあたって最も重要なのは「どう魅せるか」ではなく「自己分析」です。

他の誰でもないあなたが持って生まれたもの・強み・想いをもとにセルフブランディングを行うことで、エンジニアとしての充実したキャリアを送っていきましょう。



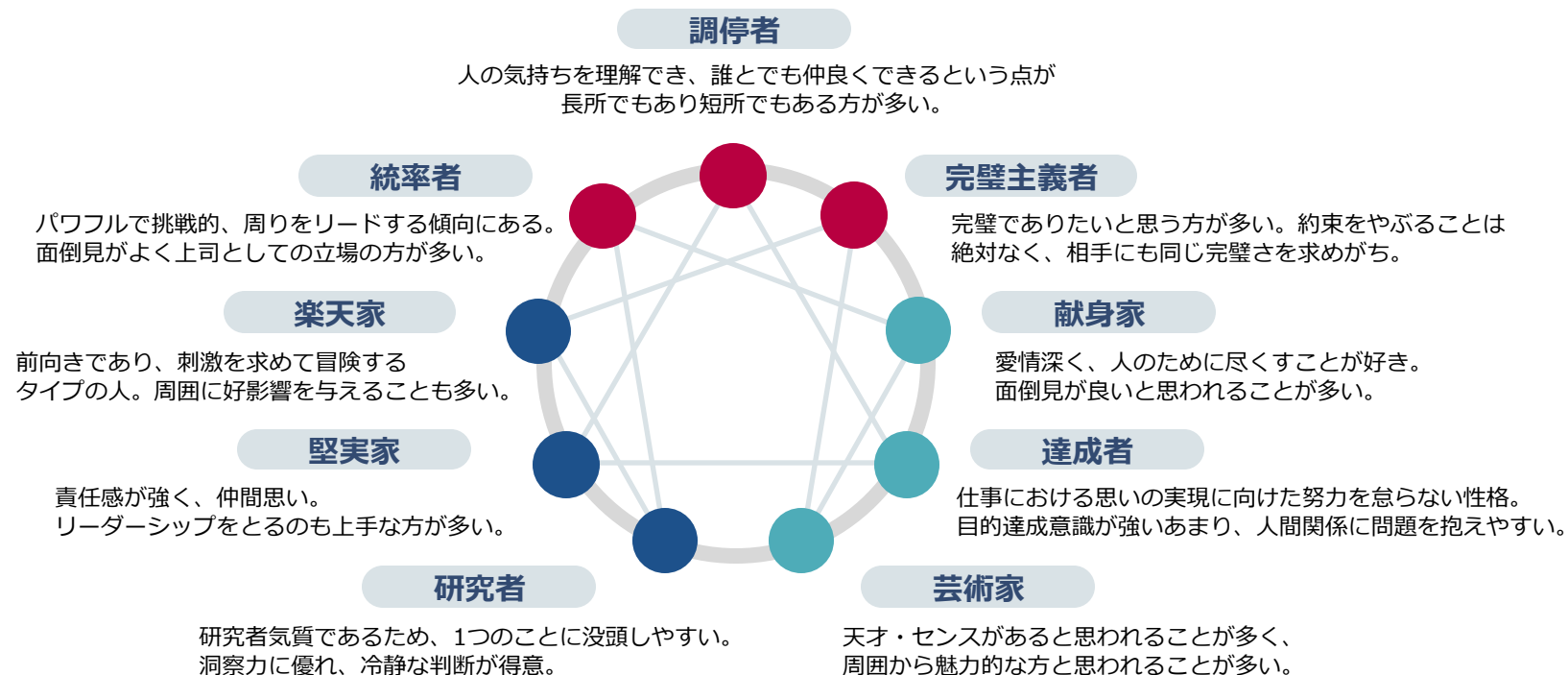
【 2 】 必要なアクション

a. 自己分析編 - 方法・項目

自己分析では自分の強みや特徴を理解し、客観視していきます。まずは自分がどのようなタイプなのか性格診断などを使ってみましょう。

自己分析 STEP 1

まず、「自分がどんな人か」どんなタイプなのかを客観的に分析してみることが重要です。
一般的なエニアグラムなどの性格診断を使うのがおすすめです。



【2】 必要なアクション

a. 自己分析編 - 方法・項目

次に自分のキャリアについて以下4つの軸で書き出していきます。内容について深く考えず、思いついたものを書いてみるのが重要です。

自己分析

STEP 2

次に、自分のキャリアについて以下の項目を書き出してみましょう。

① 好きなこと ② 得意なこと ③ 社会ニーズ ④ 収入を得られるもの
(①～③ は文章でも単語でもOK。④ は具体的な自分の実績を書き出すと良い)



アドバイザーからのアドバイス

- 複数のプロジェクトで上流工程からサービスイン・運用フェーズまで携わっている経歴は、実績としてぜひプッシュしてほしい！
- 「複数の領域のスキルを持っている」「ニーズの高い技術を深く身に付けている」方は魅力的です！



例



田中 太郎
男性・40歳

① 好きなこと

ポイント

胸を張って好きといえること、一番であることでもなくても問題はありません

- ・ 最新技術やガジェットの情報を入手すること・実際に使用してみること
- ・ 交友関係を広げること。誘われたら知らない人がいる飲み会などにも参加してみる
- ・ 新しいものや触れたことのないことを知ること。（好奇心が強い）
- ・ 長期で参画できるプロジェクトでコミュニケーションを取りながら業務を進行すること

② 得意なこと

ポイント

ライバルと比べて本当に強いと思うことを記載します

- ・ チームメンバーやクライアントとコミュニケーションを取りながら信頼関係を作り上げること
- ・ ベンダーコントロールの他、予算・タスク・スケジュール管理など、PJ進行における管理業務
- ・ 基盤構築やクラウドの知識。（特にAzure。資格も持っている）

③ 社会ニーズ

ポイント

世の中の流れや需要など。
自分にとって逆境になる世の中の流れであっても良い

- ・ Azure・AWS・GCP等のクラウド技術の発展。テレワークの広がりに合わせて、より重要度を増してきている。
- ・ 情報漏洩などのセキュリティの課題。世の中の暮らしが便利になる一方で個人情報の取り扱いについてより慎重になる必要がある
- ・ DX化が一般企業にも広がり、プロジェクトをリードしていく人材の需要がより高まっている

④ 収入を得られるもの

ポイント

評価された実績や自身のキャリアを記載します

- ・ Azureへの移行PJにおけるPM・チームリード経験
- ・ 金融系システムの基盤移行（オンプレ→クラウド）を実施。以降はエンハンスの対応に従事。
- ・ クライアントの要望を受け提案書や見積もりを作成するところから対応。
- ・ 基盤移行PJは1年で完了。その後さらに1年間リーダーとして従事

【 2 】 必要なアクション a. 自己分析編 - 方法・項目

STEP2にて書き出した自分のキャリアを分類していきます。分類することで今後のセルフブランディングにおける軸を見つけ出せます。

自己分析

STEP 3

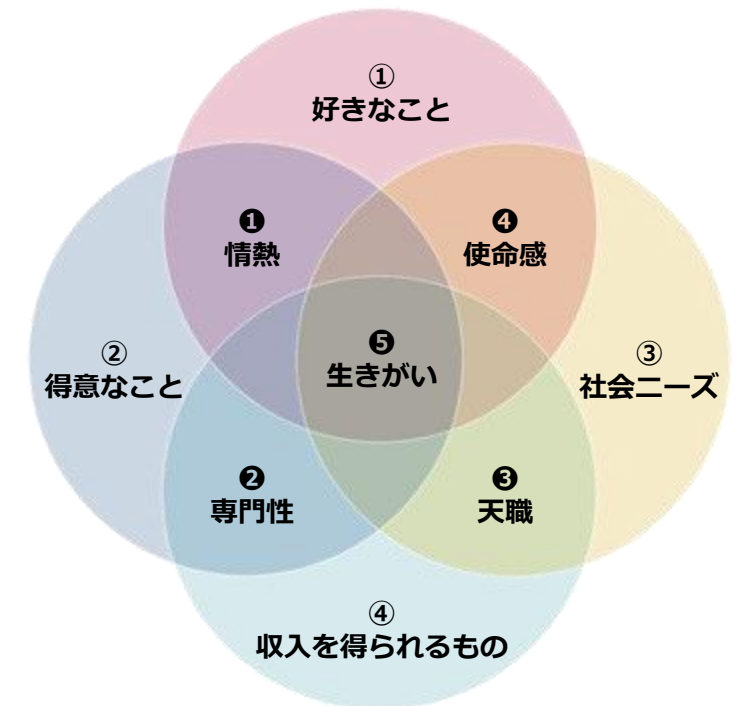
書きだした内容を、以下の表に当てはめてみましょう。

① 情熱-好きなこと／得意なこと ② 専門性-得意なこと／収入を得られるもの

③ 天職-収入を得られるもの／社会ニーズ ④ 使命感-社会ニーズ／好きなこと

特に、すべての要素が重なるものは「⑤生きがい」とされ、セルフブランディングにおける最も重要な要素と言えます！

例	
① 情熱	・ チームビルディングスキル：周囲の人間とコミュニケーションを取りながら信頼関係を構築していくことに情熱を感じる
② 専門性	・ クラウド知識：クラウド（Azure）を中心とした基盤構築スキル ・ プロジェクトマネジメントスキル・チームビルディングスキル：チームメンバーをまとめながらプロジェクトを進行していくスキル
③ 天職	・ プロジェクトマネジメントスキル・チームビルディングスキル：チームをとりまとめて大型のプロジェクトを推進していくことにやりがいを感じる ・ クラウド知識：要件定義や基本設計など、上流部分から参画ができる
④ 使命感	・ チームビルディングスキル：チームメンバーとコミュニケーションを取りながらプロジェクトをリードしていく力が自身の強み
⑤ 生きがい	・ チームビルディングスキル：大型のプロジェクトをチームメンバーと協力しながら推進できる点が誰にも負けない強み



【 2 】 必要なアクション

b. 情報整理編 - 整理

自己分析ができれば、今度は情報の整理です。自己分析にて抽出した自身の強みを意識しながら整理していきます。

情報整理

STEP 1

自分だけの
ストーリーを
考える

自己分析にて抽出して項目を活用して自分だけのストーリーと将来像を考えます

※ 複数書いてOK ※ 要素は言い換える、表現を変えるといたことをしてOK

自分だけのストーリー

自分は「どんな性格」で、「①情熱」をもっている。今までは、「③社会ニーズ」に対して「④収入を得られるもの」を生んできた(=③天職)」

将来像

これからは「④使命感」をもって「②専門性」を磨いていきたい。

- 例) 田中 太郎 男性・40歳



自分だけのストーリー

自分は「①周囲の人間とコミュニケーションを取りながら信頼関係を築いていことに情熱を」持っている。今までは「③大型のITプロジェクトを推進できる人材」として、「④クラウドへの基盤移行PJに参画し、チームをけん引してきた」。

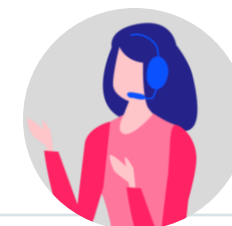
将来像

これからも「④それぞれがバリューが出せるチームビルディング能力」を生かしながら、「②やりがいのあるプロジェクトにチャレンジしていきたい」。



アドバイザーからのアドバイス

- 自分だけのストーリーは「チャレンジした」ことをアピールするだけでなく、「成果を生み出してきた」ことまで伝わっているかが重要です！



【 2 】 必要なアクション

b. 情報整理編 - 整理

自己分析ができれば、今度は情報の整理です。自己分析にて抽出した自身の強みを意識しながら整理していきます。

情報整理

STEP 2

ペルソナを
設計する

将来の目標を実現するために、どのような人（＝ペルソナ）に向けて発信すればいいのか？を考えます

項目	例
名前や年齢・職業	自分と同じレベルのクラウドエンジニア。もしくは、システム開発のプロジェクトを計画しているベンチャー企業の代表 等
毎日どのように暮らしているのか	アウトドア派/SNSや交流会を通じた同じエンジニア同士で情報交換をしている
何にこだわっているのか	エンジニアだからこそ、健康管理には気を使っている。 業務上では、常に効率やコスト、コードの綺麗さを心掛けている
何に悩んでいるのか	腰を据えて長期案件に携わるのも良いが、新たなステージに行けるようなチャレンジをしたい。

【 2 】 必要なアクション b. 情報整理編 - ブランディング

整理した情報から、自身のキャリアプランを考えながら「どのような魅せ方」をしていくか、ブランディングをしていきましょう。

情報整理

STEP 3

キャッチコピーを
考える

考えた自分のストーリーとペルソナから自分のキャッチコピーを作ります

- キャッチコピーは、相手を強く引き付け興味を持ってもらうために必要ですが、いかに的確に短い言葉で伝え、瞬間で理解してもらうチャンスです。
- 聞いた瞬間に興味がわくようなキャッチコピーがあれば関心を持つ人が集まりやすくなります。
 - ＊ 「職種」と「強み（独自性）」を組み合わせると良いでしょう。

例

エンジニアチーム開発のコツを発信するクラウドエンジニア



情報整理

STEP 4

自己紹介を
作る

まとめたキャッチコピーをもとに、30 秒～1 秒で自己紹介をまとめます

- 具体的に、SNSならプロフィールに掲載する短い文章を作成する。
- これを行うことで、自分のやりたいこと（軸）がより明確になります。

例

「チームをマネジメントするクラウドエンジニア」として、大型ベンダーにてインフラ系システム開発案件のチームリーダーなどの役割を果たしてきました。自分のチームビルディング能力、プロジェクトマネジメントスキルを活かして、得意なクラウド領域で様々な案件にチャレンジしていきたいです。

【 2 】 必要なアクション

c. 発信編 - 発信方法

セルフブランドが確立したら、発信をしていきます。目的達成に向け必要な手段を組み合わせながら運用していきましょう。

目的	● 他者との交流 ● 幅広い発信	● 技術の発信	
具体的な内容	● ニュースをシェアする ● エンジニアと交流する ● 更新情報を伝える	● 知見の発信 ＊ バグの解決方法 ＊ 体系的な知見	● ライブラリなどのソースコード
サービス例	 Twitter 拡散力が高く、リアルタイムなトピックをキャッチできる  YouTube 動画にて効果的に情報を発信でき、ユーザーの幅が広い  Facebook ビジネス関係利用者が多く、多くの情報発信をできる ※ Twitter が最も始めるハードルが低く運用コストも低いため、おすすめ	より多くの方に見てもらうなら  WordPress アップデートが容易で、デザイン性やSEO対策の観点でもおすすめ エンジニア間での情報共有・知見の獲得が目的ならば  Qiita  Zenn エンジニア向けコミュニティのため、開発の知見やアイデアを気軽に共有できる	 GitHub

【 2 】 必要なアクション

c. 発信編 - 発信のポイント

発信する際に最も大切なのは、ターゲットに対して必要な情報を、自分の強みをもとに伝えていることです。将来の自分が参考にしたり、目的に立ち戻るためにも、セルフブランディングを意識しながら継続しましょう。加えて、特に SNS においては自身のプロフィールと日々の投稿の 2 つの軸のポイントを押さえると効果的です。

プロフィール

SNS での発信においてはまずプロフィールが重要。
以下 5 つの要素はならず盛り込むようにしましょう。

肩書	ターゲットが理解できるベーシックな肩書きをつける
経歴	ストーリー性のある書き方をする
実績	誰が見ても分かりやすい客観的なものに
活動内容	具体的にイメージできるように記載する
コンセプト	自身の活動に関する信念・考えを記載する

✓ プロフィール画像について

- 発信したいペルソナに対して、どのような印象を持ってもらいたいかなどを意識する
(ビジネスパーソン向けであればスーツを着た写真など)

日々の投稿

以下 3 つのポイントを押さえながら、日々の投稿を蓄積していくことが重要です。



共感

ターゲットが共感することや、自分自身と似たビジョンのエンジニアが共感することを発信します。具体的なエピソードをもとに記載することで、共感が得られます。



知識

学習した内容や自分の強みとなる知識を発信します。凝ったものを作ろうと思わず、日常の気づきの発信から始めましょう。ソースコードやポートフォリオを作成する際も細部までこだわりすぎず、キリの良いところまで作って発信します。



交流

同じ悩み・疑問を持つエンジニアや、自分の強みやビジョンに沿ったエンジニア・企業をフォロー、コミュニケーションをとりましょう。移り変わりが激しい環境下でも情報を手に入れやすくなります。

【 2 】 事例 : Twitter Pythonアカデミア様



プロフィール

Pythonの基礎が学べるYouTubeチャンネルPythonアカデミアを運営 | Pythonチュートリアルを使った文法解説動画 (Python 3エンジニア認定基礎試験対応) やAIを使った業務効率化動画などなど | 文法解説動画は毎週木曜日更新 | その他は不定期更新 | Twitterでは基礎文法をまとめた図解や4択問題を随時配信

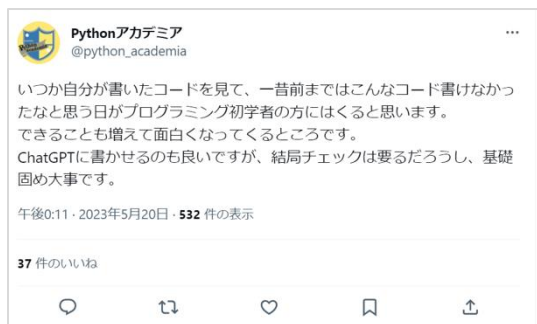
youtube.com/@arika-python 2019年6月からTwitterを利用しています

➡ 自身の肩書や活動内容がわかりやすくまとめられています。

日々の投稿

✓ 共感

自身の体験を記載し、ターゲットのエンジニア内での共感できるツイートを投稿されています。



https://twitter.com/python_academia/status/1659758776403243009?s=20

✓ 知識

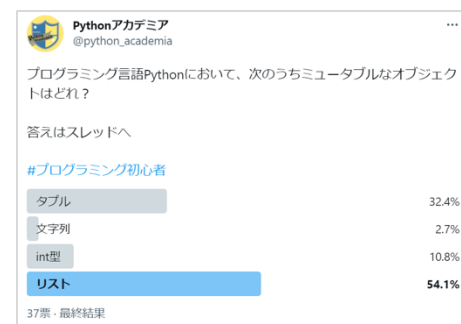
トレンドにおける自身の知識を投稿されており、わかりやすい画像でもまとめています。



https://twitter.com/python_academia/status/1654287826194956288?s=20

✓ 交流

Twitterでのアンケート機能を活用し、交流を深めるツイートを投稿されています。



https://twitter.com/python_academia/status/1653980762151227393?s=20

アカウントはこちら



【 3 】 IT案件紹介サイト「TECH STOCK (テックストック)」のご紹介

本書では、セルフブランディングの行い方をご紹介しましたが、自分では難しい・・・と思った方はエージェントの手を借りるのも1つの手段です。フリーランスエンジニアに特化した「TECH STOCK」では、実際に今までのご経験やキャリアプランに合わせたブランディング、アピールポイントの立案の支援を行っています。



TECH STOCK (テックストック) とは

フリーランスエンジニアに特化した IT 案件紹介サイトです。直受け案件・高額な案件など幅広く紹介します。独立直後のフリーランスエンジニアにも安心なサポート。お悩みの場合は、コーディネーターにご相談ください。税理士や社労士のご紹介も可能です。

以下のステップで、フリー IT エンジニアの方に最適な案件をご紹介します。

現在稼働中の方も、案件紹介を受けたいタイミングでタイムリーにご紹介するためにも、前もってご登録ください。



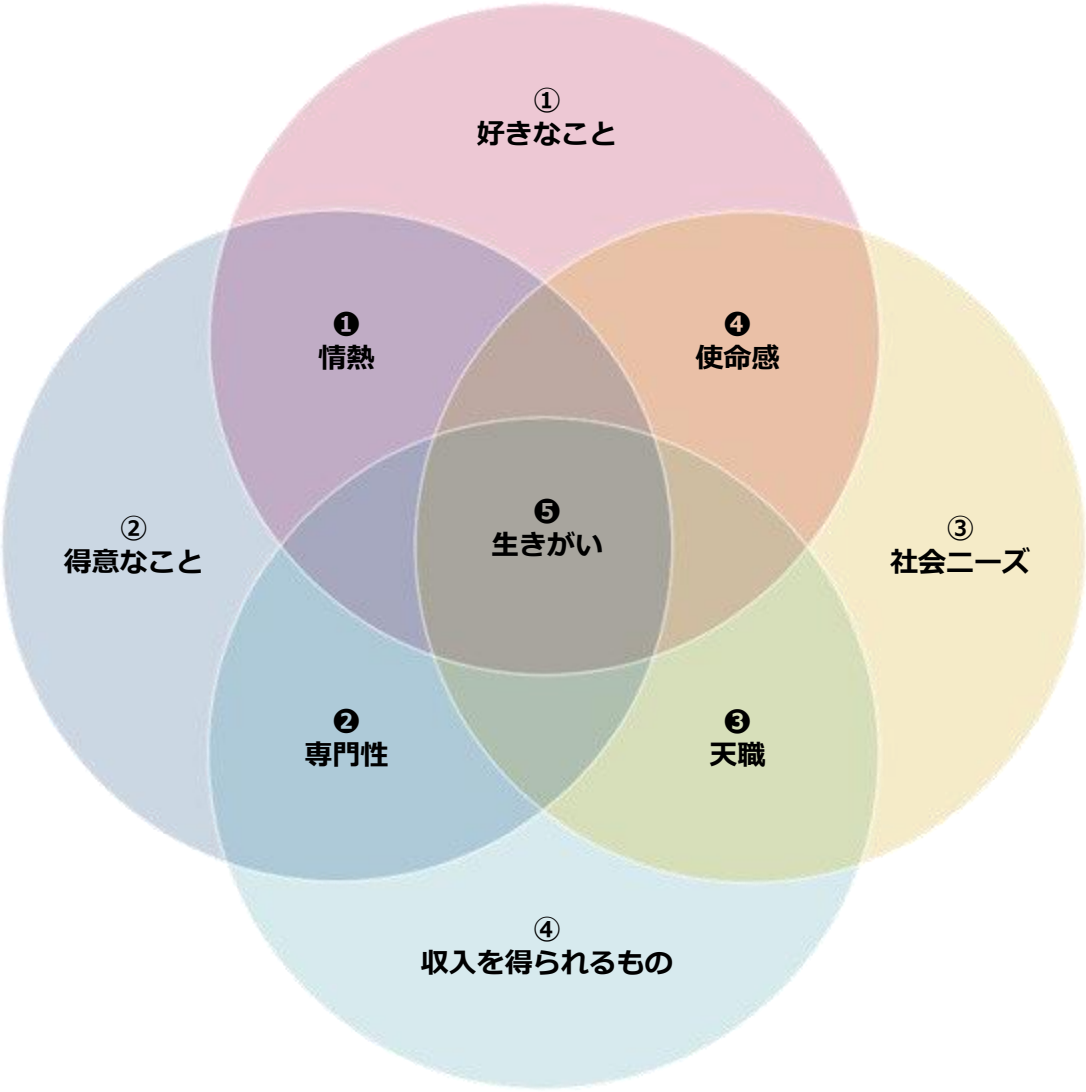
<https://tech-stock.com/>

【 4 】 ワークシート a. 自己分析編 - 自己分析シート

 名前	① 好きなこと ポイント 胸を張って好きといえること、 一番であることでなくても問題はありません	
	② 得意なこと ポイント ライバルと比べて本当に強いと思うことを記載 します	
	③ 社会ニーズ ポイント 世の中の流れや需要など。 自分にとって逆境になる世の中の流れであって も良い	
	④ 収入を得られるもの ポイント 評価された実績や自身のキャリアを記載します	

【 4 】 ワークシート a. 自己分析編 - 自己分析シート

① 情熱	
② 専門性	
③ 天職	
④ 使命感	
⑤ 生きがい	



【 4 】 ワークシート a. 情報整理編 - 情報整理シート

【STEP 1】自分だけのストーリーを考える

自分だけのストーリー

自分は「**①**」で、「**①**」をもっている。
今までは、「**③**」に対して「**④**」を生んできた。

将来像

これからは「**④**」をもって「**②**」を磨いていきたい。

【STEP 2】ペルソナを設計する

項目	例
名前や年齢・職業	
毎日どのように暮らしているのか	
何にこだわっているのか	
何に悩んでいるのか	
いつどうなりたいと思っているのか	

【STEP 3】キャッチコピーを考える

【STEP 4】自己紹介を考える